



▲町道昭和線側から見た県道瀬野呉線改良工事の様子

山吹富邦議員

## 建設部門

### Q 県道瀬野呉線改良工事

A 約260mの区間が新たに整備される  
(上馬場建設部長)

呉地・出来庭地区の工事は、長さ19・2mのコンクリート橋である新呉出橋(仮称)の製作・設置と、道路改良工事により延長約260m・幅員12mの道路が整備される。  
完成時期は7月31日までの工期であるが、若干遅れる可能性がある。  
通行体系について県道瀬野呉線は、呉市方面から町道昭和線に接続するまでの約260mの区間が新たに整備済みとなる。  
また、町道昭和線についてはセブンイレブンからは、整備中の県道瀬野呉線を一度経由して、現道の昭和線に戻る計画である。  
供用開始前には町広報等で、広く町民に周知したいと考えている。

Q  
工事概要、完成時期及び完成後の通行体系は。また、町道昭和線との接続はどのようになるのか。

山野千佳子議員

### Q うちどく家読実施に学校図書は充実しているのか

A 児童・生徒の読書環境の整備に努めたい (藤森教育部長)

学校図書については、文部科学省が定めた冊数基準があり、第四小のみ基準を満たしていない。これは、PTAが学級文庫に図書を整備したこと(学校図書に数えない)と、校舎の大規模改造を機に、古い学校図書を処分したため。町立図書館の図書や人材の活用も検討し、児童・生徒の読書環境の整備に努めたい。  
また家読については、各学校から実施の事例が報告され、本事業の趣旨に近づいていると感じている。第1回調査は夏休み後に実施する予定。この結果も参考にしながら、支援していきたい。

Q  
学校の図書数や年間図書購入費は文部科学省の規定を満たしているか。また、家読による児童・生徒の反応は。



▲家庭で読んだ本を記入する「うちどく」ノート

## 教育部門



沖田ゆかり議員

### Q 介護予防事業について

A 現時点での導入は難しいが  
今後検討していきたい (加島福祉課長)

Q  
介護保険料が上昇する中、「介護ボランティアポイント制度」の導入は検討できないか。  
※介護ボランティアポイント制度：65歳以上の高齢者が介護施設などでボランティア活動をし、ポイントを貯めて買物券と交換するなど、保険料負担が実質的に軽減できる制度。

A  
介護ボランティアポイント制度は、社会参加、地域貢献を担うとともに、高齢者自身の健康づくりにもつながる有意義な制度ではあるが、無償ボランティアとの区別やボランティアを受け入れる施設側の体制づくり、ポイントを付与する基準など、制度導入には課題もあるため、現時点での導入は難しく、今後介護現場の状況等もあわせ検討していきたい。

### Q 元気いきいきポイント制度を作ってはどうか

A 先進地の事例を研究し  
今後の導入について検討したい (加島福祉課長)

A  
昨年度実施した高齢者アンケート調査によると、介護予防や健康づくりに関心がある高齢者の割合が高い一方、参加者が少ない事業もあり、高齢者を事業参加へつなげるためにポイント制度は有効な方法の一つであると考えられる。  
しかし、ポイント対象の講座以外の教室などに参加している人や、講座に参加しなかった人との保険料負担のバランスなどの課題もあり、慎重な検討が必要と考えている。先進地の事例を研究し、今後の導入について検討したい。



山野千佳子議員

Q  
65歳以上74歳までの介護認定を受けていない方を対象に、介護予防事業や健康講座などの参加に対してポイントを加算し、ポイントに応じて換金できる制度を導入してはどうか。